

安全登山委員会「飯田雅彦講師の講演会報告」

2018年1月20日(土)に埼玉支部安全登山委員会主催で、埼玉県教育委員会、埼玉新聞社、埼玉県山岳連盟、埼玉県勤労者山岳連盟の後援を得て、テーマ『今、山で何が起きているか!』の講演会が開催された。講師には、埼玉県警察本部地域課・山岳救助隊連絡指導班の、飯田雅彦氏を招き、昨年の埼玉県内で起こった遭難発生状況に基づき遭難状況の説明があった。遭難発生件数は、63件で70名の方の遭難があり、内37件は単独登山者であった。発生原因は、道迷い、滑落、転倒、急病であるが、近年、認知症と思われる行方不明者の捜索もあった。特に、転倒ではバランス感覚の再チェックが必要で、会場で片足立ちをして各人の認識を確認したりした。飯田氏からは、バランス感覚は年齢とともに衰えるが、冷えが原因もあるので、準備運動などでよく足をあたためるとよいとの助言があった。

今、登山ブームに乗って、年齢を問わず多くの方が里山から遠方の山へ入山している。そこでは命を落としたり、救助隊に救出される現実がある。参加者は、飯田講師の話術に引き込まれながら、登山への安全を再確認した。

飯田講師からの推薦図書

- 1、「生死を分ける山の遭難回避術」・羽根田 治著
- 2、「続・秩父藪尾単独行」・坂井勝生著

飯田講師からの案内

- ・『ココヘリ』・会員が山岳遭難したとき、ID付き発信機を探知する捜索ヘリ出動により、早期発見できるサービス
- 会員登録が必要・入会費 3000+税、年会費 3650+税、ヘリ出勤費 1事案につき3回まで出勤無料

